資料３

オンラインプラットフォーム「くらしのスケッチ」に寄せられた市民意見

スペース「2026年度 まちづくり構想に向けた市民アイデア募集」／「令和の謀反 ～光秀と考える、福知山の未来～」　（令和８年７月～10月30日）　／　投稿60件
いただいたご意見は、個別事業等の参考とさせていただきます。

募集のしかたと投稿数

次期まちづくり構想の６つの政策分野それぞれに投稿ページを設け、分野ごとの設問に答える形でアイデアを募った。
広報ふくちやまや市の公式LINE、市ホームページ、SNS広告等による広報を行った。

政策分野	投稿数
1 誰もがこのまちの一員として尊重し合う共生のまち	４件
2 福知山の記憶と個性を未来につなぐまち	７件
3 こども・若者が育ち、誰もが学び続けられるまち	10件
4 暮らしを支える産業と、賑わいあふれる持続可能なまち	18件
5 人とまちをつなぐ暮らしの基盤が整うまち	9件
6 いのちと暮らしを支え、安心して暮らせるまち	5件
＊ 〔別スペース〕令和の謀反	7件
計	60件

政策分野ごとに　― どんな声を募集し、どんな声が集まったか

政策分野１　誰もがこのまちの一員として尊重し合う共生のまち（４件）

設問　誰もが自分らしく暮らし、地域とつながれるまちにするために、どんなことが必要だと思いますか?

届いた声　**「図書館で、雑談しても良いスペースなど、そこに行ったら誰かいる、そんな繋がりを感じる場所が出来たら良い」**〔市民協働〕　**「対象じゃないから行けない・お金がかかるから行けないではない、そこに行けばとりあえず誰かに会える」**〔市民協働〕　**「結局、現役世代にまちづくりのツケを押し付けているだけではないでしょうか」**〔市民協働〕

まとめ　対象や費用で入口を狭めない居場所づくりを求める声が中心。市が先に動いて地域へ広げる進め方への期待がある一方、担い手を地域に求めること自体への疑問も示された。

政策分野２　福知山の記憶と個性を未来につなぐまち（７件）

設問　福知山の文化・歴史・スポーツについて、未来に残したいものや、もっと楽しめるようにするためのアイデアを教えてください。

届いた声　**「新文化ホール等の「箱物」は身の丈にあった規模にすべきだ」**〔文化芸術〕　**「目指すのは「アートの街」ではなく「アーティストを育てる街」です」**〔文化芸術〕　**「「世界一明智光秀に詳しい街」を目指してはどうでしょうか」**〔文化財・歴史〕

まとめ　施設整備は財政負担の試算を踏まえ身の丈に合った規模にすべきという意見と、空き家を生かした若手芸術家の育成、既存館の周遊や光秀研究の拠点化など、今ある資源を磨く提案が並ぶ。

政策分野３　こども・若者が育ち、誰もが学び続けられるまち（10件）

設問　こども・若者の育ちや、誰もが学び続けられる環境について、感じていることやアイデアを教えてください。

届いた声　**「綾部市、舞鶴市、宮津市には休日に遊べる室内の大きな支援センターがありますが、福知山市にはありません」**〔妊娠・出産・子育て〕　**「休みの日に隣の丹波市や綾部市まで行っています」**〔保育・幼児教育〕　**「女の子らしさ、男らしさについて固定観念のある発言をする人が多い」**〔学校教育〕　**「いろんな年代の方が先生をすることで大人にも子供にもいい刺激になる」**〔社会教育〕

まとめ　屋内の遊び場がなく近隣市に出かけている実態が複数の投稿で共通。児童館の年齢区分の運用や休日の窓口対応など、既存の仕組みの運用改善を求める声も多い。

オンラインプラットフォーム「くらしのスケッチ」に寄せられた市民意見

政策分野ごとに　― どんな声を募集し、どんな声が集まったか

政策分野４　暮らしを支える産業と、賑わいあふれる持続可能なまち（18件）

設問　福知山の産業や賑わいについて、感じている課題や『こうなったらいいな』と思うことを教えてください。

届いた声　**「病院や銀行などが多く、若者が遊ぶ集う町になっていない」**〔商工業〕　**「生産意欲や経験はあっても販売する術が無いので」**〔農業〕　**「福知山だけで発想しないこと。近隣地域と一緒になって取り組むことです」**〔観光〕　**「低質なイベントを乱発するよりは成果が出ているイベントに絞った方が良い」**〔観光〕

まとめ　投稿が最も多い分野。道の駅や直売拠点など「売る場・集まる場」の整備を求める声が中心で、駅周辺の賑わいづくり、近隣市と連携した誘客、耕作放棄地の再生と担い手の確保が続く。

政策分野５　人とまちをつなぐ暮らしの基盤が整うまち（９件）

設問　移動・道路・水道・住まいなど、日々の暮らしを支える基盤について、感じていることや将来に向けたアイデアを教えてください。

届いた声　**「車に過度に頼らなくても生活できるよう鉄道をもっと日々の生活で利用しやすいようにする」**〔公共交通〕　**「各コアとなる数か所の地区に分け数キロ内のコンパクト地区を数か所創る方法など」**〔居住基盤〕　**「遊水池を有効活用して前向きな土地活用をして欲しい」**〔河川〕　**「信号を付けるか、鏡をつけるなどしてほしいです」**〔道路〕

まとめ　鉄道を日常的に使える形にする提案と、拠点を集約して維持費を抑えるまちづくりが二つの軸。生活道路の歩道整備や見通しの悪い交差点など、身近な安全対策の要望もある。

政策分野６　いのちと暮らしを支え、安心して暮らせるまち（５件）

設問　防災・医療・福祉など、安心して暮らし続けるための仕組みについて、感じていることやアイデアを教えてください。

届いた声　**「行政の力で病院難民を作らない施策をお願いしたい」**〔障害者福祉〕　**「全ての子ども達がリスクを軽減できるよう、助成を受けて予防接種を受けられるよう」**〔健康づくり〕　**「災害避難は地域の共助の輪を活性化させて弱者を救済する地域活動を展開する」**〔防災・消防〕　**「学校周辺などリスクの高い道路の制限速度を警察と連携して見直しを」**〔防犯・交通安全・生活安全〕

まとめ　５つの施策分野に１件ずつ。通院の移動手段、予防接種の助成、災害時の共助、通学路の速度規制と、いずれも具体的な場面に即した指摘。

「令和の謀反 ～光秀と考える、福知山の未来～」（７件）

設問　「時代に合わない常識」を光秀が変えたという伝承にならって、あなたが日々の生活の中で「時代にあわせてアップデートしたい」と思うことはなんですか？

届いた声　**「アップデートすべきは組織です」**〔行政改革〕　**「ＰＴＡ、特に教育委員会からの黒板書きやＰＴＡ大会など、都会ではＰＴＡ自体なくなってるのに、なんでまだやっているのか疑問」**〔行政改革〕

まとめ　行政運営に関するものが３件（組織風土と働き方の見直し、ＰＴＡなど慣行の見直し、市民税の負担軽減）で、構想では政策推進基盤「持続可能な行財政運営を進める」にあたる。残る４件は「くらしのスケッチ」自体の使い勝手への提案（検索で見つけにくい、コメントが意見数に反映されず埋没する、ＡＩとの応答が一往復で終わるなど）で、構想の内容ではないが、今後の市民参加の仕組みに関わる。

全体的な傾向

- 投稿は政策分野４「産業と賑わい」に集中（18件・全体の30%）。
- 施策分野では観光９件、商工業６件、居住基盤４件の順に多い。
- 施設の不足を指摘する声と、財政負担や優先順位を問う声が併存。
- 「近隣市にはあるが福知山にはない」という比較の指摘が分野をまたいで現れる。

「くらしのスケッチ」登録者数：226名

